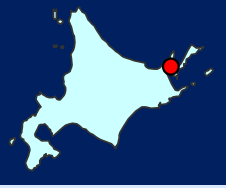
第4種 羅臼漁港
（北海道羅臼町）

羅臼地域マリンビジョン策定（モデル地域）

羅臼（らうす）地区特定漁港漁場整備事業計画

羅臼圏域
流通拠点



現状と課題

・海洋環境の変化に伴う魚種変化（ブリ）に対応した衛生管理体制の確保が必要。
・耐震強化施設から主要幹線道路に接続する漁港内道路の液状化対策が必要。また、周辺海域で操業する避難漁船受入のため、安全避難水域の確保が必要。
・越冬期に漁船の上架スペースが不足しているため、漁船保管施設用地の確保が必要。

港　勢　（R5港勢調査）

登録漁船：210隻
利用漁船：240隻
（内、外来漁船：145隻）
属地陸揚量：19，296トン
属地陸揚金額：58．2億円
主な魚種：スケトウダラ、サケ類
組合員数：94人

◎羅臼漁港の役割

・北方四島水域を含む周辺漁場で操業する刺網、サケ定置網等の沿岸漁業の流通拠点
・災害時の水産物安定供給及び背後圏への緊急物資輸送拠点

主　要　対　策

漁業活動の安全性・効率性向上
水産物流通機能の強化

主な整備方針

・衛生管理体制を確保し、水産物流通機能の強化を図るため、屋根付き岸壁の整備や用地の防塵対策を行う。
・大規模災害時における水産業の早期再開や緊急物資輸送機能の確保を図るため、漁港内道路の液状化対策を行う。また、荒天時における安全避難水域を確保するため、波除堤や突堤の整備を行う。
・漁船保管施設用地の確保や漁船上架作業の効率化を図るため、用地の舗装や船揚場の改良を行う。

基本事項

全体事業費：74．2億円
事業期間：R4～R13

主要な対策①：水産物流通機能の強化

主要な対策②：漁港の強靱化対策